



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月15日

上場取引所 東

上場会社名 昭光通商株式会社

コード番号 8090 URL <https://www.shoko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲泉 淳一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 島田 育男 TEL 03-3459-5051

四半期報告書提出予定日 2020年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	27,801	△13.0	462	△41.7	497	△44.1	1,792	118.0
2019年12月期第1四半期	31,953	△0.9	792	28.2	889	36.2	822	126.3

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 1,626百万円 (80.4%) 2019年12月期第1四半期 901百万円 (171.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	163.84	—
2019年12月期第1四半期	75.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第1四半期	53,298	12,468	22.8	1,111.92
2019年12月期	58,141	10,842	18.2	965.34

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 12,163百万円 2019年12月期 10,560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	0.0	1,700	△20.9	1,900	△23.5	2,700	48.8	246.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 1 Q	11,271,468株	2019年12月期	11,271,468株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	332,172株	2019年12月期	332,052株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 1 Q	10,939,359株	2019年12月期 1 Q	10,940,438株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により大幅に押し下げられ、個人消費や雇用にも影響を与えるなど、景気は厳しい状況で推移いたしました。

当社グループは、将来の持続的成長実現のための基盤整備ステージと位置づけた、中期経営計画の2年目を迎えました。内外経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により不透明感を増しておりますが、「リスク管理の更なる強化」「復配の実現」「構造改革の完遂」を重点課題とし、引き続き諸施策を実行しております。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、当社グループは、本社地区をはじめすべての事業拠点において全従業員を原則在宅勤務とするなど、従業員の安全確保と感染拡大防止を最優先にした施策を行っております。同時に、お客様に対する継続したサービス提供に注力しております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の当社グループ事業におきましては、前年から顕著となった内外の需要の落ち込みが更に進み、主要商材の販売が減少するとともに、市況の下落等により販売価格も低下したことから、売上高は前年同期を下回りました。

また前年同期には、貸倒引当金の一部戻入があったこと等から、営業利益および経常利益も前年同期を下回りましたが、賃貸用不動産の売却による固定資産売却益を特別利益に計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期を上回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は278億1百万円（前年同期比13.0%減）、営業利益は4億62百万円（前年同期比41.7%減）、経常利益は4億97百万円（前年同期比44.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億92百万円（前年同期比118.0%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

なお、事業構造改革のための諸施策立案・実行を加速すべく、前年に実施した組織の一部再編成に伴い、前第3四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を「化学品」、「合成樹脂」、「金属セラミックス」、報告セグメントに含まれない事業セグメントを「その他」に変更しております。このため、当第1四半期連結累計期間の比較及び分析は、変更後のセグメントの数値に基づいております。

(化学品セグメント)

化学品関連は、主要商材の販売は概ね堅調に推移しましたが、一部輸入商材の販売減少により減収となりました。

科学システム関連は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う顧客の業務停止等の影響を受け、減収となりました。

以上の結果、売上高は85億33百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益は1億72百万円（前年同期比23.1%減）となりました。

(合成樹脂セグメント)

国内取引では、需要が低調に推移し、販売が減少するとともに、価格も下落したことから、減収となりました。

また、貿易取引では、輸出販売および輸入原料の国内販売いずれも減少したことにより、減収となりました。

以上の結果、売上高は75億30百万円（前年同期比12.6%減）、営業利益は30百万円（前年同期比80.4%減）となりました。

(金属セラミックスセグメント)

軽金属関連は、加工製品および原材料いずれも、需要の落ち込みにより販売が減少したこと等により、減収となりました。

無機材料関連は、鋼材生産の減速により、黒鉛電極やその他関連する商材の販売が減少し、市況も下落したことから減収となりました。

以上の結果、売上高は91億85百万円（前年同期比21.5%減）、営業利益は1億17百万円（前年同期比53.1%減）となりました。

(その他)

肥料農材関連は、前年同期に農業資材の大口案件のスポット受注があったことから、減収となりました。

連結子会社のShoko (Thailand) Co., Ltd. は、金属原材料市況の下落により、減収となりました。

以上の結果、売上高は25億51百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益は1億42百万円（前年同期比12.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、532億98百万円（前連結会計年度末比8.3%減）となりました。主な要因は、賃貸用不動産の売却等による「有形固定資産」の減少であります。

負債は、408億30百万円（前連結会計年度末比13.7%減）となりました。主な要因は、「支払手形及び買掛金」の減少であります。

純資産は、124億68百万円（前連結会計年度末比15.0%増）となりました。主な要因は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上による「利益剰余金」の増加であります。

この結果、自己資本比率は4.6ポイント上昇して22.8%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の連結業績予想につきましては、2020年3月11日に公表しました「固定資産の譲渡および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の業績予想から変更はありません。

新型コロナウイルス感染拡大による2020年12月期通期連結業績への影響は現在精査中であり、今後、公表すべき事実が生じた場合には、速やかにお知らせします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,413	9,319
受取手形及び売掛金	29,437	27,165
電子記録債権	5,300	4,772
商品及び製品	4,376	4,665
販売用不動産	12	12
仕掛品	104	90
原材料及び貯蔵品	530	526
その他	750	685
貸倒引当金	△28	△25
流動資産合計	47,897	47,211
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,421	314
機械装置及び運搬具(純額)	400	387
土地	4,736	1,709
その他(純額)	108	113
有形固定資産合計	6,666	2,524
無形固定資産		
のれん	6	5
その他	137	134
無形固定資産合計	143	140
投資その他の資産		
投資有価証券	2,290	2,143
繰延税金資産	323	462
長期未収入金	7,801	7,632
その他	840	834
貸倒引当金	△7,822	△7,651
投資その他の資産合計	3,432	3,421
固定資産合計	10,243	6,087
資産合計	58,141	53,298

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,759	19,853
電子記録債務	3,652	2,737
短期借入金	360	80
未払法人税等	236	263
賞与引当金	285	349
その他	2,540	1,497
流動負債合計	30,833	24,780
固定負債		
長期借入金	14,000	14,000
退職給付に係る負債	1,082	1,095
その他	1,383	954
固定負債合計	16,465	16,049
負債合計	47,298	40,830
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,021	8,021
資本剰余金	0	0
利益剰余金	1,140	3,418
自己株式	△482	△482
株主資本合計	8,680	10,958
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	164	46
繰延ヘッジ損益	0	5
土地再評価差額金	788	302
為替換算調整勘定	1,070	988
退職給付に係る調整累計額	△144	△137
その他の包括利益累計額合計	1,880	1,205
非支配株主持分	281	304
純資産合計	10,842	12,468
負債純資産合計	58,141	53,298

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	31,953	27,801
売上原価	29,332	25,391
売上総利益	2,620	2,409
販売費及び一般管理費	1,827	1,947
営業利益	792	462
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	9	9
持分法による投資利益	50	54
還付消費税等	61	—
その他	18	0
営業外収益合計	141	67
営業外費用		
支払利息	36	23
為替差損	—	5
その他	8	3
営業外費用合計	45	32
経常利益	889	497
特別利益		
固定資産売却益	0	1,527
投資有価証券売却益	112	—
その他	0	—
特別利益合計	112	1,527
特別損失		
固定資産売却損	—	259
投資有価証券売却損	—	3
固定資産除却損	10	0
その他	—	0
特別損失合計	10	264
税金等調整前四半期純利益	992	1,760
法人税、住民税及び事業税	255	255
法人税等調整額	△107	△310
法人税等合計	148	△55
四半期純利益	843	1,815
非支配株主に帰属する四半期純利益	21	23
親会社株主に帰属する四半期純利益	822	1,792

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	843	1,815
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26	△103
繰延ヘッジ損益	5	5
為替換算調整勘定	17	△82
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△15
退職給付に係る調整額	9	6
その他の包括利益合計	57	△189
四半期包括利益	901	1,626
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	877	1,603
非支配株主に係る四半期包括利益	24	22

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	化学品	合成樹脂	金属セラミックス	その他(注1)	計	調整額(注2)	四半期連結損益計算書計上額
売上高							
外部顧客への売上高	8,968	8,611	11,699	2,673	31,953	—	31,953
セグメント間の内部売上高又は振替高	16	33	65	63	178	△178	—
計	8,985	8,644	11,765	2,736	32,131	△178	31,953
セグメント利益(営業利益)	224	156	249	162	792	△0	792

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、肥料・農業資材、不動産、保険代理店業、海外事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△0百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	化学品	合成樹脂	金属セラミックス	その他(注1)	計	調整額(注2)	四半期連結損益計算書計上額
売上高							
外部顧客への売上高	8,533	7,530	9,185	2,551	27,801	—	27,801
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	18	17	163	209	△209	—
計	8,544	7,548	9,202	2,714	28,011	△209	27,801
セグメント利益(営業利益)	172	30	117	142	462	△0	462

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、肥料・農業資材、不動産、保険代理店業、海外事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△0百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントの区分は、従来「化学品」、「合成樹脂」、「金属」、「生活環境・アグリ」、「海外その他」としておりましたが、前第3四半期連結会計期間より、「化学品」、「合成樹脂」、「金属セラミックス」、報告セグメントに含まれない事業セグメントを「その他」に変更しました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。